

環境会計

環境保全への取り組みを効率的かつ効果的に推進していくことを目的として、環境省の「環境会計ガイドライン 2005 版」をもとに集計しました。

本表① 環境保全コスト（事業活動に応じた分類）

対象期間：2020年4月1日～2022年3月31日

単位：千円

環境保全コスト（事業活動に応じた分類）						
分類		主な取組の内容	投資額		費用額	
			2020年	2021年	2020年	2021年
(1) 事業エリア内コスト			27,975	11,662	194,680	209,967
内訳	(1) - 1 公害防止コスト	グリストラップ、浄化槽清掃など	-	-	31,398	44,118
	(1) - 2 地球環境保全コスト	高効率 LED 照明レンタル費用 節水器具取付工事費用 台紙レスプリンター導入 フロンキーパー、 フロン漏えい検知システム導入	19,175	3,490	23,331	36,986
	(1) - 3 資源循環コスト	廃棄物処理料、魚のアリサイクル ろ過機入替 環境 Navi 導入	8,800	8,172	139,951	128,862
(2) 上・下流コスト		ペットボトル回収機 通信費 日本容器包装リサイクル協会 再商品化予定委託料金	-	-	19,069	24,705
(3) 管理活動コスト		エナッジ利用料 電子マニフェストシステム利用料金 エコプラス作成費用 エナッジ導入	5,400	7,350	6,695	6,586
(4) 研究開発コスト		該当なし	-	-	-	-
(5) 社会活動コスト		グリーンサークルにいがた	-	-	600	-
(6) 環境損傷対応コスト		該当なし	-	-	-	-
合計			33,375	19,012	221,046	241,259

※環境保全コストの費用額には減価償却費は含んでいません。

本表② 環境保全効果（エコプラス 2022 より）

対象期間：2019年4月1日～2021年3月31日

環境保全効果				
環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標（単位）	2019年 （基準期間）	2020年	基準期間との差 （環境保全効果）
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用原単位 （電力使用量÷延床面積）（kWh/m ² ）	31.3	30.0	▲1.3
	水道使用原単位 （水道使用量÷売上高）（m ³ /百万円）	3.263	3.128	▲0.135
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO2 排出原単位 （CO2 排出量÷延床面積）（t-CO2/m ² ）	0.0176	0.0167	▲0.0009
	食品廃棄物発生原単位 （食品廃棄物発生量÷売上高）（kg/百万円）	27.2	25.1	▲2.1
	コピー用紙使用量(kg)	30,603	29,548	▲1,055
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	食品リサイクル率 （再生利用料÷食品廃棄物発生量）（%）	63.6	74.9	11.3
	容器包装使用量原単位 （容器包装使用量÷売上高）（kg/百万円）	14.2	12.1	▲2.1
	食品トレー店頭回収量（t）	102.3	121.0	18.7
	牛乳パック店頭回収量（t）	100.8	118.6	17.8
	アルミ缶店頭回収量（t）	200.0	215.1	15.1
	ペットボトルキャップ店頭回収量（千個）	13,084	12,756	▲328
	ペットボトル店頭回収機回収量（t）	415.6	479.9	64.3
	古紙店頭回収機回収量（t）	1,219.1	1,442.1	223.0
	段ボール回収量（t）	5,057.8	5,451.1	393.3

本表③ 環境保全対策に伴う経済効果

対象期間：2020年4月1日～2022年3月31日

単位：千円

環境保全対策に伴う経済効果（実質的効果）			
効果の内容		2020年	2021年
収益	リサイクル売却代	26,887	5,022
	(株)ウオロクホールディングス 資源物代金	10,842	35,481
費用節減	該当なし	-	-
合計		37,729	40,504